

科目名	クラス	講義区分	科目ナンバリング	曜日	科目名	クラス	講義区分	科目ナンバリング	曜日
ジェンダー論 [2]	<春>		SOC3420	木2					

**【教員氏名】**

村上 あかね  
 ・研究室：聖アンデレ館9階916号室  
 ・オフィスアワー：月5限  
 ・メールアドレス：amurakami@andrew.ac.jp

**【単位数】**

2 単位

**【授業形態】**

『講義』『アクティブラーニング』『グループワーク』『実務経験のある教員による授業①』（政府および地方自治体の委員経験を持つ教員が政府および地方自治体の政策について解説・講義する）

**【講義・演習概要】**

生物学的な性のあり方（セックス）に対して、社会的・文化的・心理的な性のあり方をジェンダーとよぶ。  
 ジェンダー論を学ぶことは、グローバル化する社会の「世界市民」にとって基本的な教養といえる。レディースデーがあるのはなぜだろうか？女性専用車両があるのはなぜだろうか？このような身近な疑問から出発し、自分が当たり前だと思っている「男らしさ」や「女らしさ」を見直すことに挑戦することで、社会の見方が変わるだろう。  
 これまで学んだ社会学の理論・学説だけではなく、経済学、人口学、人類学などの理論・学説も応用しながら、なぜかを徹底的に考え、知的な喜びを味わう授業とする。毎回、授業中にA4用紙1枚分のコメントを書くことを求めるので、受講にあたっては知的好奇心と知的柔軟性に満ちた積極的な姿勢を望む。グループディスカッション、ディベートやロールプレイングも行う。

**【学習（到達）目標】**

この講義の目標は、以下の3点である。  
 1. 学校・家庭・職場に焦点をあてて、私たちの生き方がジェンダーと関係がある現実を知り、その背後にあるメカニズムを理解する。  
 2. ジェンダーの問題を理解するために必要な用語やものの見方を学び、自分でも使えるようになる。  
 3. 性別役割分業体制が根強い日本では、女性だけではなく男性も困難な状況におかれていることを理解し、性別にかかわらず一人ひとりの違いを尊重できる社会を築くためにはどうすればよいか、問題を解決するための視点を養う。

**【講義・演習計画】**

- 第1回：イントロダクション①：日本社会とジェンダー～世界の中の日本
- 第2回：イントロダクション②：男らしさ、女らしさとはなにか～あらためて考えてみる
- 第3回：性の多様性①：LGBTとは～TVとは違う現実を知る
- 第4回：「男らしさ」「女らしさ」の作られ方①：親の役割～親は子どもに何を期待するのか
- 第5回：「男らしさ」「女らしさ」の作られ方②：学校の役割～学校が児童生徒に期待すること
- 第6回：「男らしさ」「女らしさ」の作られ方③：メディアの役割～ファッション雑誌とCMを分析しよう
- 第7回：恋愛・結婚とジェンダー①：恋愛結婚の誕生～恋愛結婚はいつから増えたのか
- 第8回：恋愛・結婚とジェンダー②：未婚化と晩婚化～なぜ若者は結婚しなくなったのか
- 第9回：恋愛・結婚とジェンダー③：女性の貧困と子どもの貧困～なぜ子どもの貧困を減らす必要があるのか
- 第10回：家事・ケア労働とジェンダー①：母性神話～日本の家事・育児・介護はなぜ大変か
- 第11回：家事・ケア労働とジェンダー②：母性神話～歴史を振り返る
- 第12回：リプロダクティブ・ヘルスライツ①：DVから自分の体を守る～Noと言えるようになるには
- 第13回：人口減少社会日本①：移民の歴史と外国人労働者問題
- 第14回：人口減少社会日本②：あなた自身のキャリアを考えよう～どうしたいか考える
- 第15回：まとめ①：これまでの学習を振り返って

**【成績評価の方法】**

試験評価：100%

**【テキスト】**

小平麻衣子・水見直子：『書いて考えるジェンダー・スタディーズ』（新水社）

**【参考文献】**

授業中に指示する。

**【事前および事後学習の指示（事前学習 30 時間 事後学習 30 時間）】**

毎日、新聞を読んだり、ニュースを見ておいてください。社会学科基礎演習で学んだ「レポートの書き方」を復習しておいてください。

**【キーワード】**

ジェンダー、男らしさ・女らしさ、ダイバーシティ（多様性）

**【備考（管理者用）】**

（旧：ジェンダー論）1～18SS・17～18SW生読替☆（旧：社会学特講－ジェンダー論）2～9SS生読替